

平成27年3月2日

保護者の皆様へ

宮城県立角田支援学校  
校長 田口礼三郎

## 平成26年度 学校評価アンケートについて

早春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より本校の教育活動に対しまして、ご支援とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、昨年11月に実施いたしました、平成26年度「学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました。年度末にあたり集計結果をお知らせいたします。この結果につきましては、今後の学校運営の参考とさせていただきます。貴重なご意見ありがとうございました。

なお、アンケートのAとBの評価の合計が80%に満たない事項や、自由記述から来年度取り組める主な事柄については以下のように考えています。

今後とも学校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### <学校評価アンケート集計結果から>

#### ①(2)-6について

・障がいの程度等により、児童生徒が目指す姿は、具体的にはそれぞれ異なっていますので、子どもの基本的な生活習慣に係る具体的な成長が実感できるよう、個々の実態と目指す姿について、保護者に示すとともに、常にフィードバックしながら、保護者との共通理解を図り、指導することに努めていきます。

#### ②(2)-7について

・上記項目6の改善案と同様ですが、持ち物管理についても、具体的な成長が実感できるよう、スモールステップでの目標設定を行い、保護者に示すとともに、常にフィードバックしながら、保護者との共通理解を図り、指導することに努めていきます。

#### ③(3)-15について（※改善基準には該当しませんが改善案を検討しました。）

・来年度は、小・中学部も高等部と同様の形式にし、個別の指導計画に反映しやすくします。  
・支援計画を活用していく場（支援会議等）を積極的に設定していきます。  
・保護者、各市町、相談事業所等に対し、個別の教育支援計画の活用の仕方について説明する機会を設定していきます。

#### ④(3)-20について

・いじめ確認アンケートの対象範囲を全家庭、児童生徒、教員に拡大します。そこからより正確な情報収集と状況確認を行い結果の報告を行います。

## <学校評価アンケート（保護者）自由記述から>

### ①保護者の質問に対する的確な応答について

保護者の意図を真剣に受け止め、誠意をもって対応しT—T間でも連携を図りながら生徒の指導に取り組んでいきます。

### ②不登校に対する学校としての対応について

家庭との電話連絡をはじめ、家庭訪問やケース会議（支援会議）など必要とされる対策を適時とっておりますが、今後も家庭とより緊密な連携を図り、必要な支援を行っていきます。

### ③かくよう祭とリバーサイドマラソン大会の日程について

かくよう祭の時期をずらすことを検討しましたが、小・中学部との兼ね合いで変更は難しいということになりました。ご理解いただけますようお願い申し上げます。

### ④高等部における体育や実習以外での私服の着用及び冬場のジャージについて

登校後の着替えは、卒業後の就労を考えて設定しています。施設や会社では朝に着替えて作業や業務に取り組み、終了後にまた着替えを行っています。高等部ではその習慣を定着させるためにジャージ及び作業着の着替えを行っています。寒さについては教室は暖房で充分暖かいですし、外での活動では防寒着を着用させています。

### ⑤スクールバスの発車確認及び出発時刻について

直接運転担当者に注意をし、気を付けるとの返答をもらいました。しかし、今後、そのようなことがあれば再度運行管理者にも安全運行を依頼します。

出発時刻については予定時刻よりも早く出発しないよう、運行管理者が指導をします。

### ⑥現場実習を1年生から始めることについて

学年に関わらず、校内の実習も含めて、現場実習と捉えていますので、1年生から現場実習に取り組んでいます。

### ⑦児童と担任との意思の疎通及び長期休業中の連絡について

更に児童とのラポートが取れるように努力すると共に関係改善のための話し合いを個別面談時に行えるようにしていきたいと考えています。

長い休み中でも、困ったり緊急の場合はいつでも学校に連絡していただきたいと思います。

※なお、次項に学校評価アンケートの集計結果をのせてありますので、ご覧ください。

## 平成26年度 学校評価（保護者用）アンケート集計結果

提出総数：86名 単位：％ 提出率：86.9％

以下のそれぞれの質問で、あてはまるものを一つ選び、A（そう思う）、B（大体そう思う）  
C（あまりそう思わない）、D（そう思わない）、E（わからない）の記号を○で囲んでください。

### （1）本年度の努力目標から

		そう思う A	大体そう 思う B	あまりそう 思わない C	そう思わ ない D	わからない E
1	教師は、個別面談で確認したお子さんの「個別の指導目標」が5つ以上達成できるよう、努力している。	40%	53%	7%	0%	0%

### （2）目指す子ども像から

		そう思う A	大体そう 思う B	あまりそう 思わない C	そう思わ ない D	わからない E
2	お子さんは、睡眠時間や1日3回の食事など生活リズムが安定している（してきている）	49%	43%	7%	1%	0%
3	お子さんは、あまり好き嫌いせず食事をするようになってきている。	53%	31%	14%	2%	0%
4	お子さんは、嫌なことでも頑張って取り組む様子が見られるようになってきている。	28%	61%	10%	1%	0%
5	お子さんは、日常生活において、食事や着替え等、一人でできることが増えてきている。	54%	38%	5%	3%	0%
6	お子さんは、自分で身だしなみを整えたり、衣服を調節したりするなど、基本的な生活習慣が身につけてきている。	21%	38%	27%	13%	1%
7	お子さんは、自分の持ち物を管理できる（ようになってきている）。	16%	37%	28%	18%	1%
8	お子さんは、自分から（または促され）、返事や挨拶ができるようになってきている。	33%	52%	9%	5%	1%
9	お子さんは、友達や教師と一緒に楽しく活動している。	46%	46%	6%	1%	1%
10	お子さんは、喜んで登校している。	51%	43%	5%	1%	0%
11	お子さんは、行事や学習などを楽しみにし、喜んで参加している。	41%	46%	10%	1%	2%
12	お子さんは与えられた役割を、大人と一緒に（または一人で）取り組むことができるようになってきている。	42%	53%	4%	1%	0%
13	お子さんは、音楽や読書など自ら好きなことを見付け、生活を楽しむ姿が増えてきている。	29%	51%	13%	6%	1%

### (3) その他

		そう思う A	大体そう 思う B	あまりそう 思わない C	そう思わ ない D	わからない E
14	個別面談では、担任との十分な話し合いが行われている。	55%	39%	5%	1%	0%
15	個別の教育支援計画は、教育及びその他の支援（支援会議、サービスの利用等）を受けるのに役だっている。	33%	50%	14%	2%	0%
16	学習の様子や学校のことをお便りや連絡帳等で随時知らせている。	54%	40%	6%	0%	0%
17	就学奨励費の支給事務手続きや学校徴収金の納付手続等について、分かりやすく行われているか。	38%	54%	7%	1%	0%
18	スクールバスの運行は、安全に行われている。	50%	44%	4%	1%	1%
19	職員は、保護者への対応を丁寧に行っている。	56%	39%	4%	1%	0%
20	学校として、日頃からいじめの早期発見に努めている。	41%	36%	3%	1%	19%

(4) [自由記述欄] ご意見・ご感想がございましたら、ご記入ください。

--

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

提出総数：67人 単位：％ 提出率：100％

## （1）教育目標・学校運営

		A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない
1	児童生徒の実態を踏まえた教育目標を設定している。	48	52	0	0
2	教育目標の具体化のための取組がなされている。	34	66	0	0
3	保護者に教育目標の周知を図っている。	27	67	6	0
4	教育目標を具体化するために、校長の経営方針の下、職員の共通理解が図られている。	30	70	0	0

## （2）教育課程・教育計画

		A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない
5	児童生徒の障害の状態や特性に応じて教育課程を編成している。	33	64	3	0
6	学校行事は、職員の共通理解の下、組織的な運営が行われている。	39	57	4	0
7	学校行事は、反省を次年度の計画・実施に生かすようにしている。	37	60	3	0
8	教育課程は、自立と社会参加を目指したものになっている。	35	64	1	0
9	担任している児童生徒が個別の目標（指導内容）を5つ以上達成した。	17	77	6	0
10	児童生徒一人一人の実態と新学習指導要領の内容を踏まえた、個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成している。	29	70	1	0
11	小・中・高等部の系統性及び発展性を考慮した指導計画を作成している。	18	74	8	0
12	教育活動全体を通して、自立する姿を見据えた志教育の実践に努めている。	20	72	8	0

## （3）教育活動

		A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない
13	個別の指導計画は日々の学習活動に活用されている。	39	61	0	0
14	児童生徒が意欲的に学習へ取り組めるように工夫している。	33	67	0	0
15	教育活動を推進するに当たり、児童生徒の障害の状態を把握している。	40	57	3	0
16	一人一人の教育的ニーズに応じて、指導内容や指導方法を設定している。	43	56	1	0

17	T—T方式による指導の良さを生かしながら指導に当たっている。	36	64	0	0
18	その都度話し合いを重ねるなど、授業や指導の改善を図っている。	42	56	2	0
19	地域の人々とのふれあいや他校又は白石校の児童生徒との交流及び共同学習を通して、集団活動へ参加しようとする態度を育成している。	21	67	12	0

#### (4) 進路指導

		A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない
20	児童生徒の障害の状態及び発達段階や特性等に応じた進路指導が行われている。	43	57	0	0
21	進路指導担当者と学級担任が連携しながら対応できる体制になっている。	45	55	0	0
22	進路指導に関わる連絡や情報提供（進路だより、進路の手引き等）がなされている。	49	51	0	0
23	進路相談等を通して家庭との連携が図られている。	40	57	3	0

#### (5) 生徒指導・特別活動

		A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない
24	月別生活目標や長期休業中の生活の決まり等を設定し、共通理解の下指導に当たっている。	36	59	5	0
25	不審者対策や防犯用具等が整備されている。	42	57	1	0
26	児童生徒の安全のため、関係諸機関との連絡・連携を定期的に行いながら防犯指導に努めている。	33	63	4	0
27	交流集会や感謝の会等を通して、児童生徒相互の交流や感謝の態度の育成に努めている。	42	55	3	0
28	バスマナー教室やバス乗車指導を行い、児童生徒がマナーを守り安全にバスを利用するための指導に努めている。	49	51	0	0
29	学校として、日頃からいじめの早期発見に努めている。	40	59	1	0

#### (6) 保健・安全・給食指導

		A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない
30	学校生活・定期健康診断等を通して、一人一人の健康目標に応じた健康作りの指導がなされている。	54	46	0	0
31	健康な生活や習慣の形成を目指して、家庭との連携が図られている。	34	64	2	0

		A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない
32	児童生徒の実態に即して意図的、計画的に給食指導がなされている。	42	58	0	0

33	給食指導を推進するに当たり、面談で「給食指導に関わる確認書」を取り交わして、家庭との連携を図っている。	68	32	0	0
34	清掃指導など環境美化に関する指導が常時行われている。	39	58	3	0
35	児童生徒の安心・安全な生活を目指して、常時、全職員による安全点検を行い異常箇所の早期対応に努めている。	56	41	3	0
36	安全教室や防災訓練など、より実際に向けた学習活動を計画し、実施している。	50	50	0	0
37	校内における緊急時の対応を整備するとともに、校内研修を実施し、安全強化を図っている。	34	64	2	0

### (7) 情報教育

		A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない
38	授業の情報機器（パソコンなど）や視聴覚機器・と図書教材が積極的に活用されている。	22	66	12	0
39	情報セキュリティ意識の向上に努め、情報セキュリティポリシーを遵守している。	54	46	0	0
40	充実した活動を支援するために必要な機器や環境の整備が図られている。	27	64	9	0

### (8) 研修・研究

		A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない
41	検査法研修会の実施は、個別の指導計画及び日々の指導に生かされている。	26	69	5	0
42	共同研究における1学級1授業研究の実施は、教員としての力量を高める機会となっている。	29	67	4	0
43	授業内容に応じて、指導形態を工夫・改善している。	39	58	3	0
44	職能に応じた研修や初任者研修を核とした校内研修に積極的に参加し、資質の向上に努めている。	33	66	1	0

### (9) 事務

		A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない
45	会計処理について、共通理解が十分になされている。	36	57	7	0
46	事務手続きや会計処理は、明瞭、迅速、正確に行われている。	36	63	1	0

(10) 校内及び地域への支援

		A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない
47	個別の教育支援計画（高等部のみ個別移行支援計画を含む）は、実際の指導・支援に役に立っている。	32	63	5	0
48	特別支援教育の専門性の向上を図り実践に役立つ研修（かくよう講座等）、情報提供、相談・支援等が行われている。	43	57	0	0
49	地域に向けた取組（かくよう講座、作品の公開、居住地校学習推進事業等）が、組織的、計画的、継続的に行われている。	40	60	0	0
50	地域のセンター的機能の充実～圏域市町にある小中学校等への訪問を実施し、特別支援教育の理解促進を図るように努めている。	40	60	0	0
51	地域のセンター的機能の充実～小・中・高等学校等に在籍する児童生徒等への支援体制の強化を図るように努めている。	33	67	0	0
52	地域のセンター的機能の充実～圏域市町の関係機関（教育委員会や保健課等）、及び、他の特別支援学校等との連携強化に努めている。	31	69	0	0

(11) 施設・設備, 教材

		A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない
53	教育（学習）環境の面で、施設・設備が安全に配慮され、整備されている。	21	70	9	0
54	教育（学習）環境の面で、教材・教具を有効に活用できるよう整備されている。	16	73	9	2
55	施設・設備の整備について、共通理解の上に進められている。	20	74	6	0

(12) 家庭・地域との連携

		A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない
56	保護者への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。	55	45	0	0
57	施設開放、公開講座、授業公開、学校見学会等、開かれた学校づくりを推進している。	39	61	0	0
58	スクールバスが安全に運行されるよう、大地震時のスクールバス待避所のマップ化や、関係者との連絡強化に努めている。	58	40	2	0
59	児童生徒の緊急時にすぐに対応できる体制やマニュアルを、いつでも活用できる状態にしている。	28	69	3	0



# 学校関係者評価について

## 1 学校関係者評価委員会（平成27年2月9日（月）実施）

学校評価の結果及び改善案について提示し、それについて評価委員からご意見を頂いた。頂いた意見は以下のとおりである。

### ○学校関係者評価委員

- ・学識経験者（1名）
  - ・企業関係者（2名）
  - ・自治会等関係者（1名）
  - ・保護者（1名）
- 計5名

## 2 委員からの意見

※（ゴシック）：質問に対する答え

### 学校評価（職員用：様式1）に関して

- （3）—19～交流及び共同学習について：目的やねらいを明確にして今後も続けてほしい。神社のお祭りに参加することでも地域との交流が持てる。また、様々な地域から通勤している先生方に学校周辺の地域性を知ってもらう上で地区に回覧されるおたよりを見ってもらうことも有効である。

### 学校評価（保護者用）アンケート集計結果に関して

- （3）その他の20～いじめの早期発見について：Eのわからない19パーセントは多い。保護者のいじめのとらえ方がどうなっているのか。支援学校ということもありなかなか難しい点もあると思うが、いじめのとらえ方、定義を保護者に示すというのはどうか。起こりうる事例など例を示して、マニュアルがあってもいいのでは。保護者がとらえやすいように工夫すべきことがあるのでは。

（これまでのいじめ調査は、高等部に関しては生徒、保護者、担任の3者から聞き取りアンケートを行っていましたが、小・中に関しては担任のみから聞き取りを行っていました。そのため、保護者の意識として、「よく分からない」と感じたものと思われます。今後は調査の回数も増やし、すべての保護者と答えられる児童生徒、担任を対象に聞き取り調査を進める予定です。）

（いじめの早期発見に対する学校としての取り組みを丁寧に説明し、アナウンスしていく必要があります。）

- 「Eのわからない」という選択肢があると調査そのものが成り立たなくなる可能性があるのですが、Eはなくてもいいのではないかと。

（Eの「わからない」という選択肢はもともとなかったのですが、2年前に保護者の自由記述の中に「わからない」という選択肢を入れて欲しいという要望があったために入れるようになりました。）

## 学校評価（保護者用・職員用様式2）アンケート結果%比較に関して

- （3）その他の20～いじめの早期発見について：保護者の41%は10ページの結果から分かるが、教師（担任）の53%はどこから出てきたものか。  
（本年度初めての試みとして、同じ項目を保護者の視点と、担任の視点でアンケートを取ることに  
より、受け止め方の違いを見ようとしたものです。）  
（教師の%はこのページで初めて出てきたもので、様式1のものとは違います。）

### 全体を通して

- 本校、白石校ともにそれぞれの苦労があると思うが、連携がうまくいっていると感じる。学校評価もきめ細かく対応されている。
- 時代とともにパソコン等が普及して便利になっているが、ワープロの文字は冷たいと感じる。
- 一言多いことと、一言少ないことの意味について～生徒に一言多く言ってしまう知らないうちに傷つけていないか。教職員には他の職業にない大事なことがある。職員同士が一言足りなくなっていないか。会話、コミュニケーションが大切である。
- パソコンに向かって仕事をしていると会話よりも入力や操作が中心になってしまう。  
コミュニケーションによる意思の疎通や意見交換を大切にしてほしい。
- アンケートについて、パーセントの表し方。100以下であれば数字（人数）で表してもいいのではないか。何人の人が、そのような考えを持っているのかを知りたいと感じる。
- 学校だより等について、とてもよい。先生方の受賞や頑張っていることなど、もっと学校をアピールしてほしい。また、保護者の良い点などを載せることも学校の活性化につながると思う。
- 他校の例であるが次のような話しを聞いた～学部が変わって（進級して）から、歯磨き指導をしっかりとやってくれなくなった。同じクラスに障害の重い子と軽い子がいた場合、障害の軽い子は指導しなくても自分でできるが、重い子はそうはいかない。基本的に歯磨き指導は、小・中の段階で終わっていると、先生方は捉えていないか。保護者からすれば、まだまだ基本的な指導をしてほしいと思っている。保護者と先生方の意識レベルにギャップがあるのではないか。保護者から愚痴混じりの話しを聞くことも大切である。
- 情報セキュリティーをしっかりとお願いしたい。個人のパソコンには必ずパスワードを設定して、学校から個人情報が漏洩することのないようにお願いしたい。
- 12年間の支援学校での生活も終わりになります。子どものため、学校のために先生方頑張ってください。一生の中では学校生活はとても短い。その短い学校生活を充実させてほしい。

### 3 意見に対する対応

- 項目により難易はあるが、平成26年度中に検討し、改善に向けて前向きに取り組む。